

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく
臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究

研究分担者 竹政伊知朗・札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科・教授

研究協力者 九富 五郎・札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科・講師

研究協力者 沖田 憲司・札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科・助教

研究要旨（今日の欧州連合（EU）の臨床データベース体制から何を学び取ることが出来るか）

欧州連合（EU）のがん臨床データベース体制は各国によりその体制は違い、悉皆性も様々であった。人口の少ない国では1国1registryであり、悉皆性も高かった。個人情報収集は法的根拠のもとオプトアウトで行われている国が多かった。EUのがん登録はヨーロッパがん登録ネットワーク（ENCR）を中心としてEUROCIMとEUROCAREを実施している。EU諸国の中でもイングランドとスウェーデンは全国民に個人ナンバーが付与され、個人情報保護法の下、悉皆性を担保している。本邦においても個人情報の管理を含めた法的根拠を整備しがん登録を進めていく必要がある。

A. 研究目的

今日の欧州連合（EU）のがん臨床データベース体制を学び取り、そこから本邦における臨床データベースに基づく臨床研究の推進、および国民への研究情報提供の在り方を考えることが出来るか

B. 研究方法

1. 欧州および各国のがん登録システムについて特徴を調査
2. 欧州の中でもイングランドとスウェーデンのがん登録・システムの特徴を探り、データベースを活用した研究数（原著論文数）の推移比較
3. 両国のがん登録システムとEU諸国のシステムを相異比較し今後の本邦におけるがん登録に有益な因子を探る
（倫理面への配慮）

C. 研究結果

1. フランス、イタリア、スペイン、ポルトガルなどでは、全国がん登録がなく、地域がん登録が主体であり、悉皆性も低かった。
2. ドイツでは全国登録が存在するが、その方法などは州ごとに自主性が認められ、州ごとの相違が大きかった。
3. 比較的人口が少ない国では、1国1registryであり悉皆性も高い傾向があった。
4. 個人情報収集は法的根拠のもと、オプトアウトで行われている国が多かった。

D. 考察

EUにおける情報収集は法的根拠のもとオプト

アウトで実施されているが、各国によってその方法は異なり、中でも代表的なのは、イングランドとスウェーデンであり、両国は全国民に個人ナンバーが付与され、個人情報保護法の下、悉皆性を担保していた。

E. 結論

EU諸国のがん登録は、ヨーロッパがん登録ネットワーク（ENCR）を中心としてEUROCIMとEUROCAREを実施している

EU諸国の中でもイングランドとスウェーデンは全国民に個人ナンバーが付与され、個人情報保護法の下、悉皆性を担保している
本邦においても個人情報の管理を含めた法的根拠を整備しがん登録を進めていく必要がある

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表
Imamura M, Hirata K, Unno M, Kamiya K, Gotoh M, Konno H, Shibata A, Sugihara K, Takahashi A, Nishiyama M, Hakamada K, Fukui T, Furukawa T, Mizushima T, Mizuma M, Miyata H, Mori M, Takemasa I, Mizuguchi T, Fujiwara T. Current status of projects for developing cancer-related clinical practice guidelines in Japan and recommendations for the future. Int J Clin Oncol. 2019 Feb;24(2):189-195.
2. 学会発表

なし

**H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む)**

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3.その他